

令和元年7月18日
第2回埼玉支部評議会

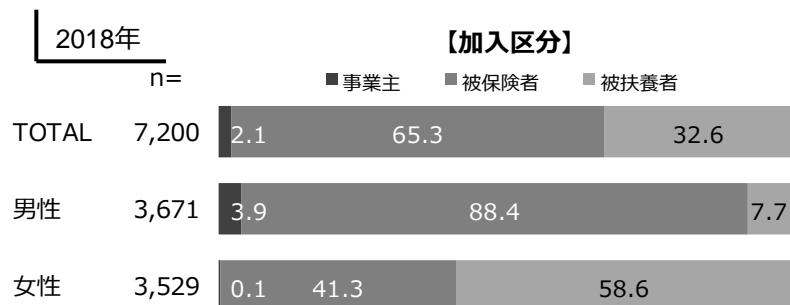
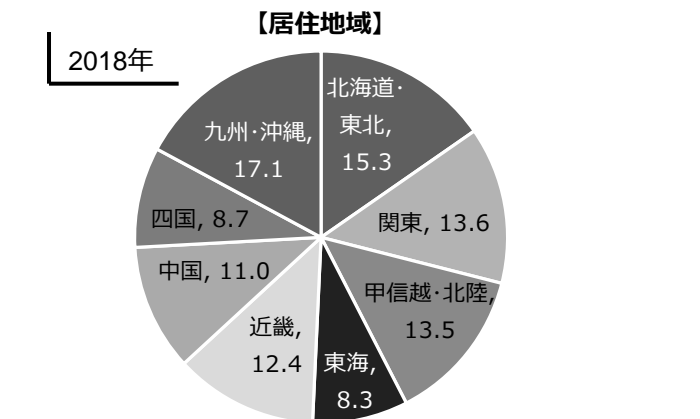
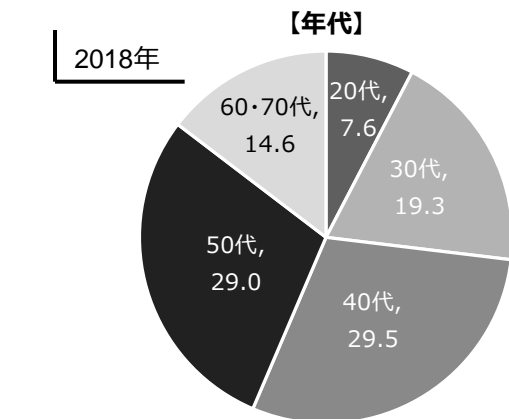
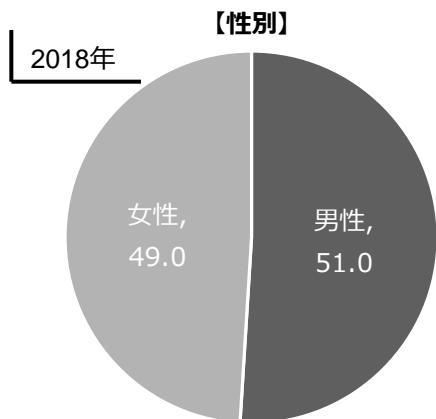
理解度調査の検証と今後の対応について

理解度調査の実施概要について

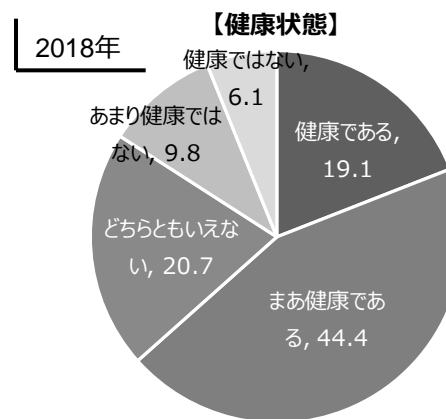
(1)調査の目的	協会けんぽ加入者を対象に、保険料や現金給付、健診・保健指導、その他協会けんぽの取組、介護保険等に関する認知率を把握する。
(2)調査設計	<p><調査対象者> 調査委託先のインターネットモニターのうち、協会けんぽの加入者(事業主・被保険者・被扶養者)。いずれも事前調査により把握した。</p> <p><対象者条件> 20歳から74歳男女。年代、性別、地域に偏りがないよう、協会けんぽの加入者構成比に準じてサンプル設計。</p> <p><対象者数> 有効回収数 7,200サンプル</p>
(3)調査手法	インターネット調査
(4)調査実施時期	平成30年12月7日～12日

理解度調査の実施概要について

回答者基本属性



2017年	n=	事業主	被保険者	被扶養者
TOTAL	4,402	3.0	71.8	25.3
男性	2,191	5.6	85.7	8.7
女性	2,211	0.3	58.0	41.7



※2018年新設問

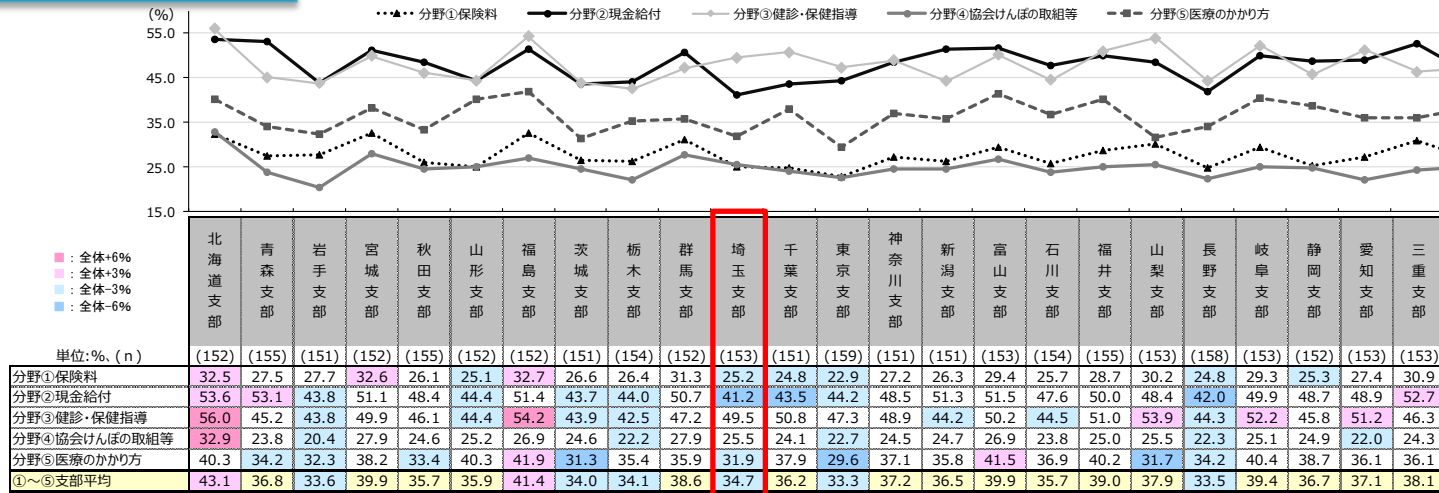
※いずれもn=7,200、単位は%

理解度調査の検証について

加入者の医療保険制度等の認知率に関する調査結果

平成30年度に実施された加入者の医療保険制度等の認知率に関する調査結果について、分野①「保険料」、分野②「現金給付」、分野③「健診・保健指導」、分野④「協会けんぽの取組等」、分野⑤「医療のかかり方」の埼玉支部加入者の認知率は、**分野③「健診・保健指導」を除く全ての分野において全国平均を下回る結果となった。**

支部別調査結果



↑ Q7-2、Q7-4は除いた平均

支部	滋賀支部	京都支部	大阪支部	兵庫支部	奈良支部	和歌山支部	鳥取支部	島根支部	岡山支部	広島支部	山口支部	徳島支部	香川支部	愛媛支部	高知支部	福岡支部	佐賀支部	長崎支部	熊本支部	大分支部	宮崎支部	鹿児島支部	沖縄支部	全国平均	Q7-2、Q7-4を含まない平均
単位: %、(n)	(152)	(154)	(154)	(158)	(151)	(152)	(153)	(153)	(155)	(154)	(150)	(153)	(152)	(154)	(154)	(160)	(154)	(153)	(151)	(152)	(151)	(150)	(155)	(7200)	(7200)
分野① 保険料	27.0	30.2	29.7	30.7	30.2	29.0	25.9	29.0	28.9	26.2	31.1	31.2	24.1	31.4	29.1	28.8	30.5	33.2	31.1	29.7	26.5	30.1	31.2	28.5	28.5
分野② 現金給付	46.1	48.5	50.2	50.4	48.3	52.4	46.4	54.2	48.8	49.7	54.3	54.8	41.8	51.5	52.7	51.9	52.9	57.1	49.0	55.7	48.1	52.8	56.3	49.5	49.5
分野③ 健診・保健指導	47.2	46.8	51.3	49.1	46.0	47.3	48.2	48.2	49.9	44.4	50.3	49.4	44.7	48.9	46.2	43.4	46.6	52.3	48.3	48.4	47.0	49.3	55.6	45.9	48.1
分野④ 協会けんぽの取組等	25.0	27.9	27.2	27.3	25.9	26.1	25.1	25.7	26.3	24.2	27.5	27.8	22.4	26.9	26.6	24.9	26.0	29.7	29.2	27.6	27.0	26.8	27.6	25.7	25.7
分野⑤ 医療のかかり方	38.3	41.1	37.5	39.9	40.7	37.3	34.5	38.7	40.6	38.8	38.8	37.9	33.9	36.4	42.7	36.7	44.0	41.7	40.7	41.0	38.7	40.0	42.1	37.7	37.7
①～⑤支部平均	36.7	38.9	39.2	39.5	38.2	38.4	36.0	39.2	38.9	36.7	40.4	40.2	33.4	39.0	39.5	37.1	40.0	42.8	39.7	40.5	37.5	39.8	42.6	37.5	37.9

理解度調査の検証について

認知率（総合）上位10支部

加入者の医療保険制度に関する認知率上位10支部は以下のとおり

1位	北海道支部	2位	長崎支部	3位	沖縄支部	4位	福島支部	5位	大分支部
6位	山口支部	7位	徳島支部	8位	佐賀支部	9位	宮城支部	10位	富山支部

支部別順位（分野別・総合） 1位～20位

単位:%		分野① 保険料	単位:%		分野② 現金給付	単位:%		分野③ 健診・保健指導	単位:%		分野④ 協会けんぽの取組等	単位:%		分野⑤ 医療のかかり方	Total		
															5項目①～⑤ 平均		
1位	長崎支部	33.2	1位	長崎支部	57.1	1位	北海道支部	56.0	1位	北海道支部	32.9	1位	佐賀支部	44.0	1位	北海道支部	43.1
2位	福島支部	32.7	2位	沖縄支部	56.3	2位	沖縄支部	55.6	2位	長崎支部	29.7	2位	高知支部	42.7	2位	長崎支部	42.8
3位	宮城支部	32.6	3位	大分支部	55.7	3位	福島支部	54.2	3位	熊本支部	29.2	3位	沖縄支部	42.1	3位	沖縄支部	42.6
4位	北海道支部	32.5	4位	徳島支部	54.8	4位	山梨支部	53.9	4位	宮城支部	27.9	4位	福島支部	41.9	4位	福島支部	41.4
5位	愛媛支部	31.4	5位	山口支部	54.3	5位	長崎支部	52.3	5位	京都支部	27.9	5位	長崎支部	41.7	5位	大分支部	40.5
6位	群馬支部	31.3	6位	島根支部	54.2	6位	岐阜支部	52.2	6位	群馬支部	27.9	6位	富山支部	41.5	6位	山口支部	40.4
7位	沖縄支部	31.2	7位	北海道支部	53.6	7位	大阪支部	51.3	7位	徳島支部	27.8	7位	京都支部	41.1	7位	徳島支部	40.2
8位	徳島支部	31.2	8位	青森支部	53.1	8位	愛知支部	51.2	8位	沖縄支部	27.6	8位	大分支部	41.0	8位	佐賀支部	40.0
9位	山口支部	31.1	9位	佐賀支部	52.9	9位	福井支部	51.0	9位	大分支部	27.6	9位	奈良支部	40.7	9位	宮城支部	39.9
10位	熊本支部	31.1	10位	鹿児島支部	52.8	10位	千葉支部	50.8	10位	岡山支部	27.5	10位	熊本支部	40.7	10位	富山支部	39.9
11位	三重支部	30.9	11位	三重支部	52.7	11位	山口支部	50.3	11位	兵庫支部	27.3	11位	岡山支部	40.6	11位	鹿児島支部	39.8
12位	兵庫支部	30.7	12位	高知支部	52.7	12位	富山支部	50.2	12位	大阪支部	27.2	12位	岐阜支部	40.4	12位	熊本支部	39.7
13位	佐賀支部	30.5	13位	和歌山支部	52.4	13位	岡山支部	49.9	13位	宮崎支部	27.0	13位	北海道支部	40.3	13位	兵庫支部	39.5
14位	奈良支部	30.2	14位	福岡支部	51.9	14位	宮城支部	49.9	14位	愛媛支部	26.9	14位	山形支部	40.3	14位	高知支部	39.5
15位	山梨支部	30.2	15位	富山支部	51.5	15位	埼玉支部	49.5	15位	福島支部	26.9	15位	福井支部	40.2	15位	岐阜支部	39.4
16位	京都支部	30.2	16位	愛媛支部	51.5	16位	徳島支部	49.4	16位	富山支部	26.9	16位	鹿児島支部	40.0	16位	大阪支部	39.2
17位	鹿児島支部	30.1	17位	福島支部	51.4	17位	鹿児島支部	49.3	17位	鹿児島支部	26.8	17位	兵庫支部	39.9	17位	島根支部	39.2
18位	大分支部	29.7	18位	新潟支部	51.3	18位	兵庫支部	49.1	18位	高知支部	26.6	18位	山口支部	38.8	18位	愛媛支部	39.0
19位	大阪支部	29.7	19位	宮城支部	51.1	19位	愛媛支部	48.9	19位	岡山支部	26.3	19位	広島支部	38.8	19位	福井支部	39.0
20位	富山支部	29.4	20位	群馬支部	50.7	20位	神奈川支部	48.9	20位	和歌山支部	26.1	20位	宮崎支部	38.7	20位	岡山支部	38.9

理解度調査の検証について

認知率（総合）下位10支部

加入者の医療保険制度に関する認知率下位10支部は以下のとおり

38位	山形支部	39位	秋田支部	40位	石川支部	41位	埼玉支部	42位	栃木支部
43位	茨城支部	44位	岩手支部	45位	長野支部	46位	香川支部	47位	東京支部

支部別順位（分野別・総合） 21位～47位

単位:%		分野①保険料	単位:%		分野②現金給付	単位:%		分野③健診・保健指導	単位:%		分野④協会けんぽの取組等	単位:%		分野⑤医療のかかり方	Total		
単位:%			単位:%			単位:%			単位:%			単位:%			5項目①～⑤平均		
21位	岐阜支部	29.3	21位	兵庫支部	50.4	21位	大分支部	48.4	21位	佐賀支部	26.0	21位	鳥根支部	38.7	21位	京都支部	38.9
22位	高知支部	29.1	22位	大阪支部	50.2	22位	熊本支部	48.3	22位	奈良支部	25.9	22位	静岡支部	38.7	22位	群馬支部	38.6
23位	和歌山支部	29.0	23位	福井支部	50.0	23位	鳥根支部	48.2	23位	鳥根支部	25.7	23位	滋賀支部	38.3	23位	和歌山支部	38.4
24位	鳥根支部	29.0	24位	岐阜支部	49.9	24位	鳥取支部	48.2	24位	埼玉支部	25.5	24位	宮城支部	38.2	24位	奈良支部	38.2
25位	岡山支部	28.9	25位	広島支部	49.7	25位	東京支部	47.3	25位	山梨支部	25.5	25位	千葉支部	37.9	25位	三重支部	38.1
26位	福岡支部	28.8	26位	熊本支部	49.0	26位	和歌山支部	47.3	26位	山形支部	25.2	26位	徳島支部	37.9	26位	山梨支部	37.9
27位	福井支部	28.7	27位	愛知支部	48.9	27位	滋賀支部	47.2	27位	岐阜支部	25.1	27位	大阪支部	37.5	27位	宮崎支部	37.5
28位	岩手支部	27.7	28位	岡山支部	48.8	28位	群馬支部	47.2	28位	鳥取支部	25.1	28位	和歌山支部	37.3	28位	神奈川支部	37.2
29位	青森支部	27.5	29位	静岡支部	48.7	29位	宮崎支部	47.0	29位	福井支部	25.0	29位	神奈川支部	37.1	29位	福岡支部	37.1
30位	愛知支部	27.4	30位	京都支部	48.5	30位	京都支部	46.8	30位	滋賀支部	25.0	30位	石川支部	36.9	30位	愛知支部	37.1
31位	神奈川支部	27.2	31位	神奈川支部	48.5	31位	佐賀支部	46.6	31位	福岡支部	24.9	31位	福岡支部	36.7	31位	青森支部	36.8
32位	滋賀支部	27.0	32位	秋田支部	48.4	32位	三重支部	46.3	32位	静岡支部	24.9	32位	愛媛支部	36.4	32位	滋賀支部	36.7
33位	茨城支部	26.6	33位	山梨支部	48.4	33位	高知支部	46.2	33位	新潟支部	24.7	33位	愛知支部	36.1	33位	静岡支部	36.7
34位	宮崎支部	26.5	34位	奈良支部	48.3	34位	秋田支部	46.1	34位	茨城支部	24.6	34位	三重支部	36.1	34位	広島支部	36.7
35位	栃木支部	26.4	35位	宮崎支部	48.1	35位	奈良支部	46.0	35位	秋田支部	24.6	35位	群馬支部	35.9	35位	新潟支部	36.5
36位	新潟支部	26.3	36位	石川支部	47.6	36位	石川支部	45.8	36位	静岡支部	24.5	36位	新潟支部	35.8	36位	新潟支部	36.2
37位	広島支部	26.2	37位	鳥取支部	46.4	37位	青森支部	45.2	37位	三重支部	24.3	37位	栃木支部	35.4	37位	鳥取支部	36.0
38位	秋田支部	26.1	38位	滋賀支部	46.1	38位	香川支部	44.7	38位	広島支部	24.2	38位	鳥取支部	34.5	38位	山形支部	35.9
39位	鳥取支部	25.9	39位	山形支部	44.4	39位	石川支部	44.5	39位	千葉支部	24.1	39位	青森支部	34.2	39位	秋田支部	35.7
40位	石川支部	25.7	40位	東京支部	44.2	40位	広島支部	44.4	40位	石川支部	23.8	40位	長野支部	34.2	40位	石川支部	35.7
41位	静岡支部	25.3	41位	栃木支部	44.0	41位	山形支部	44.4	41位	青森支部	23.8	41位	香川支部	33.9	41位	埼玉支部	34.7
42位	埼玉支部	25.2	42位	岩手支部	43.8	42位	長野支部	44.3	42位	東京支部	22.7	42位	秋田支部	33.4	42位	栃木支部	34.1
43位	山形支部	25.1	43位	茨城支部	43.7	43位	新潟支部	44.2	43位	香川支部	22.4	43位	岩手支部	32.3	43位	茨城支部	34.0
44位	千葉支部	24.8	44位	千葉支部	43.5	44位	茨城支部	43.9	44位	長野支部	22.3	44位	埼玉支部	31.9	44位	岩手支部	33.6
45位	長野支部	24.8	45位	長野支部	42.0	45位	岩手支部	43.8	45位	栃木支部	22.2	45位	山梨支部	31.7	45位	長野支部	33.5
46位	香川支部	24.1	46位	香川支部	41.8	46位	福岡支部	43.4	46位	愛知支部	22.0	46位	茨城支部	31.3	46位	香川支部	33.4
47位	東京支部	22.9	47位	埼玉支部	41.2	47位	栃木支部	42.5	47位	岩手支部	20.4	47位	東京支部	29.6	47位	東京支部	33.3

理解度調査の検証について

埼玉支部加入者認知率の詳細について

全国における埼玉支部の加入者認知率の順位は41位と苦戦。また、分野③「健診・保健指導」を除く全ての項目で全国平均を下回った。更に分野ごとの質問の中で全国平均を下回る項目は以下のとおり。（被保険者調査分）

分野① 保険料

Q1-3「保険料は、被保険者と事業主（勤務先）が半分ずつ負担している」について、
認知率が全国平均を下回った。

埼玉支部認知率	全国平均認知率
50.0%	55.4%

分野② 現金給付

Q3「健康保険には、以下のような現金給付等サービスがあります。
これらをご存知ですか」について、
「高額療養費」「限度額認定証」「出産育児一時金」の認知率が
全国平均を下回った。

	埼玉支部認知率	全国平均認知率
高額療養費	63.0%	68.9%
限度額認定証	32.0%	38.1%
出産育児一時金	49.0%	57.8%

分野③ 健診・保健指導

Q5「協会けんぽでは、35歳以上の被保険者向けの健診として「生活習慣病予防健診」
を実施しています。この健診をご存知ですか」について、「知らなかった」の割合
が全国平均を上回った。

埼玉支部認知率	全国平均認知率
53.0%	47.3%

理解度調査の検証について

分野④ 協会けんぽの取組等

Q9-14「ジェネリック医薬品は先発医薬品と効き目や安全性が同等であると国が認可した薬であること」について、認知率が**全国平均を下回った**。

埼玉支部認知率	全国平均認知率
53.0%	61.6%

Q9-15「ジェネリック医薬品は先発医薬品と比べ3～5割程度薬代が安くなること」について、認知率が**全国平均を下回った**。

埼玉支部認知率	全国平均認知率
53.0%	62.9%

分野⑤ 医療のかかり方

Q10-1「紹介状なしでベッド数200床以上の病院を受診すると、特別料金が加算されるケースがあること」について、認知率が**全国平均を下回った**。

埼玉支部認知率	全国平均認知率
28.0%	35.2%

Q10-2「ハシゴ受診（安易な理由で次々とお医者さんを変えること）は、治療がそのつど振り出しに戻るため体にもお金にも負担がかかること」について、認知率が**全国平均を下回った**。

埼玉支部認知率	全国平均認知率
25.0%	37.3%

Q10-3「医療機関の診療時間外（夜間・休日）に受診すると割増料金がかかること」について、認知率が**全国平均を下回った**。

埼玉支部認知率	全国平均認知率
39.0%	52.2%

Q10-4「子どもを病院に連れて行くか迷った場合の救急相談先（小児救急電話相談：#8000）があること」について、認知率が**全国平均を下回った**。

埼玉支部認知率	全国平均認知率
20.0%	26.2%

埼玉支部の現状の取組みについて

埼玉支部における広報体制について

埼玉支部においては、定期的に編集委員会を開催し、各種広報誌やメールマガジンに掲載する記事について検討の上、広報内容を決定。各グループが原案を作成し、企画グループで校正を行う。

編集委員会について

①編集委員の選出

各グループから編集委員を選出
(企画G2名、保健G1名、業務G1名、レセG2名)

②会議開催頻度

毎月1回開催(最終週の前週水曜日)

③協議内容

- ・ 広報計画の策定
⇒年間の広報スケジュールの策定
- ・ 広報媒体別の編集方針の決定
⇒対象者別の編集方針の決定
- ・ 各広報媒体の広報原案協議
⇒**認知度調査やKPIを意識した広報の展開**

広報紙等について

広報媒体	広報内容等
埼玉だより	年金事務所の納入告知書に同封 (毎月発行)
健康保険委員だより	健康保険委員向け広報紙(四半期に一度発行) 医師会提供の記事を毎月掲載(予防医学の大切さ等)
メールマガジン	健康情報やセミナーなどのイベント情報を中心に配信(毎月配信)
その他広報 (社会保険労務士会報、 社会保険さいたま)	関係団体の広報紙へ記事を提供。 社会保険労務士会会報(月1回) 社会保険さいたま(年に4回)

埼玉支部の現状の取組みについて

分野① 保険料について

平成31年度の保険料率変更について、埼玉県内の**メディア（テレビ、ラジオ、新聞）**を活用した広報を実施し、事業主、加入者及び関係団体等への周知を図った。

テレビ埼玉（TV）

放送期間：平成31年3月23日～31日

放送内容：15秒CMを上記期間中に全20回放送

テレビCM



FM NACK5（ラジオ）

放送期間：平成31年3月28日～31日

放送内容：20秒CMを上記期間中に全12回放送

60秒生CMを上記期間中に1回放送

埼玉新聞（新聞）

掲載日：平成31年3月22日

掲載内容：朝刊において五段広告を実施

新聞広告



埼玉支部の現状の取組みについて

分野② 現金給付について

納入告知書同封チラシ「埼玉だより」や健康保険委員向け広報誌「健康保険委員だより」において、傷病手当金申請時の注意点や高額療養費、限度額認定証制度について広報を実施。

また、**新規加入事業所説明会**や**健康保険委員研修会**において現金給付等について説明。

新規加入事業所説明会

新規加入事業所を対象に、健康保険制度等の理解を深めてもらうとともに協会けんぽと事業所との距離を縮めることで事業運営の円滑化を図ることを目的に実施。

平成30年度全6回開催し、計236名が参加。

開催日	参加者
平成30年5月21日	48名
平成30年7月30日	51名
平成30年9月18日	31名
平成30年11月9日	29名
平成31年1月29日	34名
平成31年3月13日	43名
合計	236名

新規加入事業所説明会参加者数

健康保険委員研修会

平成31年1月～3月にかけて健康保険委員研修会を開催し、現金給付の手続きや健診・特定保健指導、健康経営等について説明。

県内5会場と追加開催2会場の計7回実施し、計632名が出席した。

開催日	開催地域	参加者
平成31年1月30日	秩父	81名
平成31年2月7日	春日部	108名
平成31年2月19日	川越	131名
平成31年3月5日	大宮	159名
平成31年3月14日	熊谷	84名
平成31年3月18日	大宮	52名
平成31年3月26日	熊谷	17名
合計		632名

健康保険委員研修会参加者数

埼玉支部の現状の取組みについて

分野③ 健診・保健指導について

テレビ埼玉の情報番組に埼玉支部長が出演し、ジェネリック医薬品の使用促進や健診・保健指導などの保健事業等を紹介。平成30年度は以下のテーマにおいて5回放送。

	実施月	内容
1	平成30年9月	受動喫煙防止について
2	平成30年10月	ジェネリック医薬品使用促進について
3	平成30年11月	生活習慣病等の重症化予防について
4	平成30年12月	口腔衛生について
5	平成31年3月	健診とがん健診の受診促進

平成30年度情報番組内におけるテーマ

埼玉支部の現状の取組みについて

分野④ 協会けんぽの取組等について

平成30年度、埼玉支部はジェネリック医薬品の普及に向けて、埼玉県、ジェネリック医薬品使用促進協議会と連携し、**ジェネリック医薬品使用促進セミナー**を開催した。事業主、加入者及び医療関係者等**282**名が参加。

ジェネリック医薬品使用促進セミナー

開催日時：平成30年9月11日（火） 13：30～

開催会場：大宮ソニックシティ小ホール

基調講演：ジェネリック医薬品普及に向けて

岸野 亨（埼玉医科大学病院薬剤部長／薬学博士）

パネルディスカッション

●パネリスト

天下井 昭（埼玉県 保健医療部 薬務課長）

新藤 健（埼玉県医師会）

畑中 典子（埼玉県薬剤師会 常務理事）

●コーディネーター

柴田 潤一郎（協会けんぽ埼玉支部 支部長）



2018ジェネリック医薬品使用促進セミナーの様子



2018ジェネリック医薬品使用促進セミナー特集記事（埼玉新聞）

埼玉支部の現状の取組みについて

分野⑤ 医療のかかり方について

平成30年度は「医療のかかり方」について広報紙等での広報実績はなし。掲載回数が少ないほど認知率が全国平均より低い傾向が見られる。（認知率青字は全国平均以下）今年度は広報紙等やメールマガジン等での広報を定期的実施予定。

納入告知書同封チラシ

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	掲載回数	埼玉支部認知率
分野①保険料率					●						—		1	25.2
分野②現金給付			●				●				—	●	3	41.2
分野③健診・保健指導			●	●	●			●		●	—	●	5	49.5
分野④協会けんぽの取組等	●	●		●	●	●		●	●	●	—		8	25.5
分野⑤医療のかかり方											—		0	31.9

メールマガジン

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	掲載回数	埼玉支部認知率
分野①保険料率											●		1	25.2
分野②現金給付	●												1	41.2
分野③健診・保健指導		●			●			●				●	4	49.5
分野④協会けんぽの取組等		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		10	25.5
分野⑤医療のかかり方													0	31.9

埼玉支部の今後の対応について

既存の広報の拡大及び質の向上に向けて

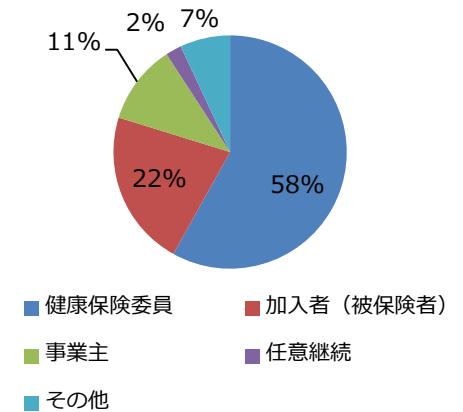
加入者等に対する情報提供や広報については、ホームページやメールマガジン等により、加入者の立場から分かりやすい各種情報を発信するほか、**メールマガジン**の登録者数の拡大や配信内容の見直しを図る。

メールマガジンについて

- 平成30年度末時点メルマガ登録件数 **4,989件**（前年度比**+1,672件**）
- メールマガジンの属性は**健康保険委員58%**、加入者（被保険者）22%、事業主11%の順に登録割合が高い。
- 平成30年度、メールマガジンでは**現金給付の情報発信は1回のみで**、健康情報やセミナーなどのイベント情報が中心。

登録者目線での必要な情報を発信できるよう内容の見直しが必要。

メールマガジン属性について



埼玉支部の今後の対応について

その他

31年度事業計画では、既存の広報媒体以外に、公共交通機関を活用した広報や、インターネット上での広報を展開。より広範囲の地域、年齢、性別の方へ協会けんぽの取組等について理解を深めてもらう。

公共の場・公共交通機関等での広告

駅構内での**デジタルサイネージ**や**電車やバス等**での広告を活用し、広く加入者の目に行き届く広報を実施する。



デジタルサイネージイメージ



電車内広告イメージ

検索サイト等におけるバナー広告

検索サイトや**動画サイト**等における**バナー広告**を実施予定。

既存の広報において、対象から外れていた若年層等へジェネリック医薬品の使用促進や協会けんぽの保健事業等について啓発を行う。

Y A H H O U

検索

ニュース 経済 エンタメ スポーツ

- ・ 日経平均25,000円を突破
- ・ がんの新薬が保険適用へ
- ・ 日本人の平均寿命が90.0歳を超える

協会けんぽ埼玉支部からのお知らせ

ジェネリック医薬品使用率
80%達成!!

検索サイト内バナー広告イメージ